

品川郷土の会 会報

令和3年(2021)8月

復刊第116号

発行人 坂本道夫

編集人 野口健夫

第464回例会延期

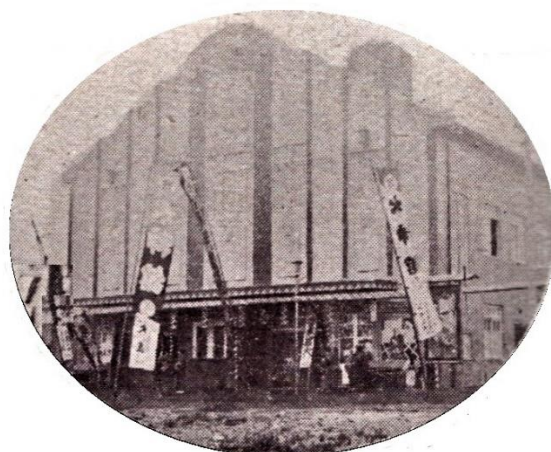
ハガキでお知らせしたように、7月24日(土)午後開催予定だった例会は新型コロナ再燃による緊急事態宣言発令により中止しました。8月は例年夏休みですので第464回例会は、9月25日(土)午後に順延します。政府から緊急事態宣言が再度発出された場合は、対応についてハガキでお知らせします。

南大井・桜新道にあった映画館「東郷館」 副会長 野口 健夫

現在、南大井地区の映画館としては6丁目27西友ストア内に昭和54年(1984)開業した「キネカ大森」がある。98年前から桜新道沿いにも映画館があったが、戦災後、「キネカ大森」が開業するまで60数年間、映画館の空白地域だった。

大正15年(1926)発行の「大井町名鑑」によれば「東郷館」は、桜新道2099番地(現南大井6丁目8)に在り、大正12年(1923)株式会社「水神館」として開業したが、大正14年(1925)7月、地元篤志家による個人経営に代わり「東郷館」と改称したと書かれている。一方、大正12年7月発行の「大井町誌」に「水神館」の写真があるので、これ以前に開業したと考えられる。

大正12年水神館開業時代の桜新道は農道状態で畑の中の一軒家状態であったようだが、9年後の昭和7年には道路整備も進み商店街が形成されていたことが分かる。



大正12年(1923)水神館時代



大正15年(1926)東郷館時代



昭和7年(1932)櫻新道・東郷館前



東郷館の場所(水神下 2098-2099 番地)

昭和3年(1928)東郷館ニュースNo.39 カバー写真は坂東妻三郎で、筆頭紹介映画は阪妻プロダクション超特作品「時代映画 銀蛇」。主演はもちろん当時27歳の坂東妻三郎である。坂東妻三郎は、戦後の著名俳優田村高廣、田村正和、田村亮、水上保広の実父である。

併映されたのは松竹キネマ蒲田撮影所大傑作品「社会大衆大悲劇 永遠の心」である。子役として当時10歳だった小桜葉子と19歳だった田中絹代の名が見える。小桜葉子は若大将・加山雄三の実母である。

更に東亜キネマ京都作品「情艶櫻時雨」が記載されていて3本立て上映である。

近日公開映画には19歳の田中絹代主演「彼と田園」、21歳の市川右太衛門(俳優北大路欣也実父)主演「三下野郎」、20歳の林長次郎(後の長谷川和夫)主演「時雨笠」などが並んでいる。

新しい映画時代の幕開けらしく、戦後になっても活躍した新進気鋭の主演俳優たちの年齢は今よりずっと若い。

大正13年(1924)刊行「東京都荏原郡史」によると、松竹キネマ蒲田撮影所が近いせいもあり、大井町には月形龍之介、東山千栄子など28名の俳優が在住していたとのことである。



昭和3年(1928)東郷館ニュース No.39 外

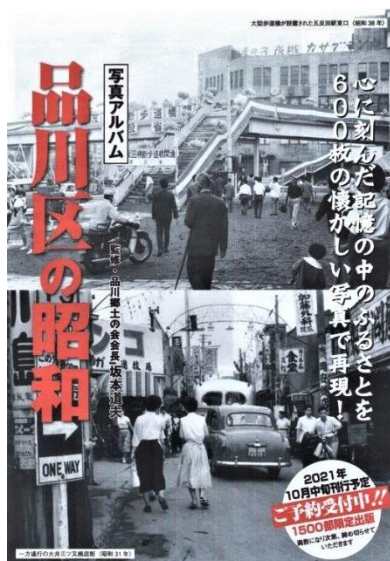


昭和3年(1928)東郷館ニュース No.39 内

当会関連団体などの動向

「品川区の昭和」 編集作業進捗状況

書店チラシや新聞折り込みで紹介され、例会でも紹介し、昨年から坂本会長監修下で進めている「写真アルバム 品川区の昭和」は、現在鋭意校正作業中で、9月中に最終校正が終わる予定です。問題なければ、10月中旬には発刊され店頭にも並ぶ予定です。掲載写真は約600枚、定価は税込9990円で、株式会社出版から刊行されます。



これは完成イメージです

郷土・郷土史関連図書情報

地元や郷土史に関連する新刊図書を紹介いたします。興味のある方は、書店等で購入するか、近くの図書館で閲覧下さい。なお、区内図書館は事前に COVID19 での閲覧制限を確認の上お出かけください。

1. 日本人の住まい 新装版

日本人の暮らしと住まいのユニークさに惹かれたモースが、300余点の図版とともに綴る詳細な記録。日本家屋の構造、形態、間取りや室内装飾、庭などを観察、住生活の知恵や工夫を解説する。1991年刊の新装版。説明するまでもなく、著者 E. S. モース(1838-1925)は米国ポートランド生まれのアメリカの動物学者、日本研究家で1877年以降たびたび来日し、動物学研究の傍ら、日本文化の摂取にもつとめ「大森貝塚」ほか日本関係の著書がる。



著者：E. S. モース

訳者：斎藤 正二、藤本 周一

出版社：八坂書房

判型：46判

頁数：401頁

価格：3080円(税込)

初版：2021年07月17日

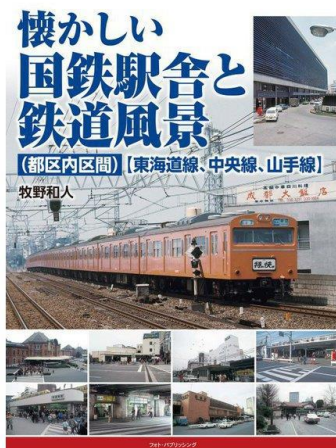
ISBN：978-4896-9428-97

2. 懐かしい国鉄駅舎と鉄道風景

“東海道線、中央線、山手線”

駅舎・電車の写真とも、見開き中心の大き

なサイズで楽しめます。品川駅、大井町駅、大森駅、西大井駅、大崎駅、五反田駅、目黒駅が掲載されています。今から30年前～40年前に撮影された懐かしい国鉄駅舎の写真と、国鉄型電車（主に通勤電車）の走行風景を収録しています。



著者 牧野和人
出版社 メディア・パル
価格 1980円(税込)
頁数 143頁
発売日 2020年11月26日
判型 B5版
ISBN 978-4802-1322-06



著者：奥山景布子
出版社：集英社
判型：文庫判
頁数：312頁
価格：759円(税込)
初版：2020年07月17日
ISBN：978-4087-4413-90

当会ほか関連行事について

当会 第464回例会のお知らせ

順延となった第464回例会は、下記日程で予定しています。詳細内容・出欠確認は、追って往復はがきで、ご案内いたします。

日時：9月25日(土) 13時30分～
場所：中小企業センター 中会議室
講演者：未定
演題：未定
参加費：500円

(復刊116号おわり)

3. かっぽね 寄席品川清州亭 4

寄席品川清州亭の最新刊。安政江戸大地震の中で生まれた愛娘もすくすく育ち、再びおえいの商いへの意欲も芽生えてきた。だが、始めた団子屋を手助けしてくれるお加代はわけありの様子で……（「御用」）。三代目九尾亭天狗の最後の弟子にして、晩年最も身近にいた礫は、芸への思いがこもった形見を譲り受けることになったものの、兄弟子の妬みを買ってしまう（「点取り、無双の三杯」）など人情が涙を誘うシリーズ第四弾の娯楽小説。

品川郷土の会や本誌についてのお問合せは、
〒140-0001 品川区北品川 3-6-13-503
携帯電話 080-5497-4633 坂本まで
会長 坂本 道夫